

～専門を超えることで専門性を高める～

研究における

超域のカタチ

第11回

超域スクール

研究には、次の4つの超域のカタチがある。

基礎的な研究成果を製品化・
応用研究へつなげるために超
域する

一つの研究分野で得られた成
果や方法を他分野の研究で用
いるために超域する

他分野の研究から成果・方法
を自分の研究分野で用いるた
めに超域する

異なる研究分野の成果・方法
を超域することで統合し、新し
い研究分野・領域を創造する

自身の研究における超域のカタチとは？

プレゼンターが語る、研究の中での「超域」体験を共有しながら、みなさんと一緒に、それぞれの超域のカタチについて考えたいと思います。

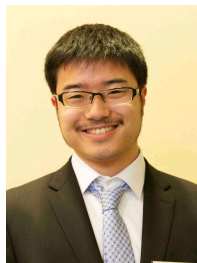
プレゼンター

黒崎 健 (工学研究科 准教授、超域プログラム担当教員)

松村悠子 (人間科学研究科M2、超域12年度生)

高田一輝 (工学研究科 M1、超域13年度生)

司会： **平井 啓** (大型教育研究プロジェクト支援室 准教授)



会場：大阪大学吹田
産連本部D棟5階
超域セミナー室1

日時：平成25年

10月11日(金)

18:00～20:00

申込：

goo.gl/XKu2mw
よりお願いします。



参加対象：
どなたでもご参加
頂けます。

